



新宿区立四谷小学校
校長 石井 正広

令和元年を振り返って

副校長 岩澤 肇

5月に始まった令和元年も、この12月でいよいよ終わりとなります。5月から暑い日差しが降り注ぎ、気温の上昇とともに外遊びや水泳ができなくなりました。そんな中でも、各学年児童は、汗をかきながら元気に遠足や社会科見学に出かけて行きました。また、夏の5年生女神湖、6年生天童も、天候には悩まされましたが、子どもたち一人一人が価値ある体験をすることができました。

そして9月には運動会、先日は音楽会と大きな行事も無事終わることができました。地域や保護者の皆様の大きな拍手を受けている時の子どもたちの満足そうな笑顔は、かけがえのないものであると感じられる日でした。また、10月には、避難所開設訓練と並行して防災デイとしての学校公開を行いました。折しも巨大な台風が関東地方に接近した10月、被害に遭われた皆様には心からお見舞いを申し上げます。幸いにも四谷地域では大きな被害もほとんどなく、学校も被害報告はありませんでした。しかし、様々な被害を想定することの大切さを実感させられる各地の被害状況でありました。運動会、学校公開を通して保護者の皆様からいただいたアンケートからは、酷暑や台風、防災等に対する学校の取組に対する評価のお声や様々な御意見をいただきました。こうしたお声も参考にしながら、次年度計画を検討しているところです。

今月は2度目の学校評価アンケートも採らせていただきますが、各行事におけるアンケートの結果も踏まえながら、次年度の抜本的な教育計画の見直しを進めています。具体的には、各行事の精選と年間配列の見直し、新学習指導要領に基づいた生活3学期、評価2学期制への移行等を検討しています。3学期に入りましたら、具体的な方策について教育委員会の御指導をいただきながら、学校運営協議会にお諮りした上で、保護者の皆様にも提示させていただきます。令和の時代にふさわしい、子どもたちがより輝ける四谷小学校となるようにしていきたいと思っています。

子ども園との連携

連携担当

本校と四谷子ども園とは、同じ敷地内にあることを生かして、連携を行っています。

今年度は、4年生が音楽の時間に子ども園の4歳児・5歳児の子どもたちを招待し、リコーダーの発表をしました。リコーダーの押さえ方を教えてあげたり、園児の歌に合わせて演奏をしたり、園児の気持ちに寄り添いながら素敵なハーモニーを奏でることができました。

1年生は、生活科の学習で作ったどんぐりのおもちゃを使ったお店屋さんごっこに、4歳児の子どもたちを招待しようと計画中です。3学期には、来年度1年生となる5歳児に小学校を体験してもらう学習を計画しています。1年生にとっては進級への気持ちが高まり、5歳児にとっては入学への期待が高まる活動となり、双方に得るものが大きい活動です。

また、5年生は、次年度に入学予定の5歳児の子どもたちとの交流を深め、一緒に給食を食べる活動等も予定しています。交流を通して、5年生の最高学年へ向かう気持ちを高める機会にするとともに、これまでの自分の成長を振り返る契機とし、自分の成長を見守ってきてくださった方々への感謝の気持ちが育ってくれたらと願っています。

子どもたちは自分ひとりで成長していくこともありますが、年下の子とかかわる中でグンと急成長することがたくさんあるように感じます。

今後も子ども園との連携を通して、思いやりや前向きに取り組む姿勢等、豊かな心を育てていきたいと考えています。



「かわいい」から「かっこいい」へ

1年2組担任

入学して間もないころ、上級生が黄色い帽子の1年生を見るたびに、「かわいい」と言っているのをたびたび見かけました。かわいい1年生はやること全てが初めてばかりなので、朝の支度は6年生に手伝ってもらったり、給食も早めに準備したりして、少しずつ学校のルールを身に付けてきました。

そんな1年生も入学から8ヵ月が経ち、色々なことが自分たちだけでできるようになりました。係活動を工夫したり、自分たちで学級会を開いてクラス遊びの計画をしたり、自発的な行動がどんどん増えて頼もしい限りです。生活科のドングリや松ぼっくりを使ったおもちゃ作りでは、完成したおもちゃでお店屋さんごっこを楽しんだ後、「小学生になるのを楽しみにしている年下の子を呼んで、もう一回このおもちゃでお店屋さんがしたいな。」と昨年の自分たちを思い出しながら、計画を進めています。きっとこれから先も、頼もしい姿をもっともっと見せてくれることでしょう。

あっという間に12月、2学期も残りわずかです。「かわいい1年生」から、頼りになる「かっこいい1年生」に変身し、さらに成長していつかれることを願っています。

「みんなで考える」

3年2組担任

「先生大変！〇〇君の豆電球がつかなくなっちゃった！」

理科の実験中の出来事です。みんな口々に「電池切れかな」など心配そうに覗き込みます。明かりがつかなくなった子も不安そうです。

「あれ？その豆電球よく見せて。」「豆電球の中が黒くなってよ！」「線の焦げたところが電気が通るのを邪魔してるんじゃない！？」

授業中に起きた偶然の出来事から、豆電球の仕組みについて理解が深まった瞬間でした。みんなで原因を考え、明かりがつかなくなった子も授業が終わるころには得意げな顔になりました。

このように2組の子どもたちは友達に起きたことを自分事として考え、33通りの知恵を出しながら様々なことを学んでいます。

これからも多くの経験の中で、皆で考え、学んでいけるように見守っていきたいと思います。

冬休みの過ごし方

生活指導主任

冬休みは、一年を締めくくり、新しい年を迎える大切な期間です。学校では、冬休みの過ごし方について以下のことを重点に指導いたします。ご家庭でも、お子さんと冬休みの過ごし方について話す機会をもち、安全で充実した冬休みを過ごしてください。

1 規則正しく、健康な生活をしよう。

- ・早寝、早起きをして生活のリズムを整えよう。
- ・風邪やインフルエンザの流行を防ぐために、うがい・手洗いなどをしっかりしよう。
- ・気持ちのよいあいさつをしよう。
- ・家のお手伝いを進んでやろう。

2 安全に気をつけよう。

- ・交通安全に気をつけよう。
- ・お金の使い方を考えよう。
- ・出かけるときや遊ぶときのルール（SNSの利用のルールも含む）を守ろう。

